

## 〔長久手町業務評価票：平成19年度業務〕

課係NO・業務NO	□□□□-□□・□□	総合計画	□1節□4項	下水道
担当課・係名	下水道課業務係【問合せ・質問等の先（内線番号） 332番】			

業務の名称	下水道接続完了検査事業						
(1) 根拠法令・条例	長久手町下水道条例						
(2) 当該業務量 (延人員規模含む)	総業務量の <u>17.0</u> % (係の総業務量を100%とする) 職員延人数： <u>209</u> 人・日 (臨時雇用者延人数： <u>    </u> 人・日)						
(3) 事業費 (人件費分を除く)	<u>30,336</u> 千円 (平成19年度決算(細目・細々目の実績から抽出・算定する))						
(4) 補助率(補助金がある場合のみ記載)	<u>0.</u> % (平成18年度実績)						
(5) 業務期間	開始した年度	平成8年度	終了(予定)年度	年度			
(6) 業務の概要 (簡潔に箇条書きで記載)							
①業務目的 (達成目標)	下水道使用区域内の宅内排水設備工事を検査、指導する。						
②業務が対象とする住民 (地域、層)	下水道の使用可能となり、宅内排水設備工事が完了した各家庭及び事務所。						
③業務の具体的な実施内容・方法 (平成19年度実績)	宅内排水設備の工事完了届が提出された後、業者と共に1戸ずつ訪問し設計図に照らし合わせて工事の完了検査を行い、上下水の料金説明と下水道の上手な使い方を説明する。						
④業務の実施結果 (平成19年度実績)	下水道の未接続者に対する接続依頼 (集合住宅) に努めた。						
	【業務結果の説明指標】						
		結果の説明指標	17年度	18年度 実績	19年度 実績	20年度 目標	将来目標
1	完了検査件数		525	522	575	600	
2							
3							
4							
5							
⑤業務の成果 (業務目的の達成状況) (平成19年度実績)	使用区域の拡大に伴い確実に接続の件数は増加している。積極的な接続依頼を図り快適な暮らし環境を目指す						
	【業務成果の説明指標：基本計画準拠】						
		成果の説明指標	17年度 実績	18年度 実績	19年度 実績	20年度 目標	将来目標
1	完了検査件数 (累計)		4,620	5,142	5,717	6,300	
2							
3							
4							
5							

(7) 遂行上の問題点、取組課題（箇条書きで簡潔に記載）

○下水道の使用開始可能な時点での経済的、建物の耐久性に伴う理由からの接続率の低下が懸念される。

(8) 改善実績（過去3年間の実績）

○ 未接続の理由分けをすることで、接続依頼の経過がわかりやすくなり接続へとつながった。

(9) 業務の評価（自己診断）

評価基準	評価の視点	五段階評価 (5～1点)
①目的の達成状況	業務目的に対して、どの程度の成果が得られているか。	3 点
②コストパフォーマンス	成果を上げるために投入してきた人的資源、財源は、適切であったか。	3 点
③業務方法の最適採用	業務の円滑で効率的な実施に採用した方法・手法は業務の目的、取り巻く状況に対応して適切であったか。	3 点
④住民の満足・信頼獲得	受益する住民の満足、行政に対する信頼は高められたか。	3 点
⑤総合計画との整合	総合計画（基本計画）の方針に対応しているか。	3 点
⑥他都市との比較	近隣の都市、類似団体に比べて業務の進み具合はどうか。	3 点
		平均 3.0 点

(10) 総合評価（課の見解）

①今後の方向 (該当番号に○印)	<p>① 前年度と同じく、そのまま継続する。</p> <p>2. 見直して継続（業務の拡大）</p> <p>3. 見直して継続（業務の縮小）</p> <p>4. 見直して継続（方法の改善）</p> <p>5. 見直して継続（他業務と統合）</p> <p>6. 廃止する。</p> <p>7. 休止する。</p>
②評価理由	完了検査を適切に行い引き続き 継続する。

(11) 今後の目標・改善方針（具体的かつ簡潔に記載。課の見解を記入すること）

雨水と汚水の誤接及び漏水による浄化センターにおける過度な汚水処理負担を抑えるためにも、より慎重に検査することと職員の完了検査に伴う専門知識の習得に努める。